

【エクアドル経済：3月】

1. 概要

- コロンビアとの外交関係断絶により、3月は、外交問題が主要事項であったことから、経済的に大きな動きは見られなかった。
- 5日、ウィーンで開催された第148回OPEC定例総会において、チリボガ鉱山石油大臣とカリオン大使は、石油開発よりも環境保護を重視する「ITT 鉱区保護提案」を主張、OPEC加盟国より同提案に対する支持を獲得した。
- 13日、エクアドルは、約10年ぶりに、3つのマージナル油田開発契約に署名した。

2. 第148回OPEC定例総会（於：ウィーン）

(1) 5日、OPECは、アマゾン地域のヤスニ国立公園内に存在する ITT (Ishpingo-Tambococha-Tiputini) 鉱区保護のためのエクアドルの提案を支持する旨発表した。オーストリアのウィーンで開催された第148回OPEC定例総会において、チリボガ (Galo Chiriboga) 鉱山石油大臣及びカリオン (Francisco Carrion) 大使 (外務省ヤスニ ITT イニシアティブ局大統領府代表) は、環境保護の観点から鉱区開発を行わないとする ITT 鉱区保護提案を主張、OPEC加盟国12ヶ国より同提案への支持を獲得した。チリボガ大臣は、「同提案は、昨年11月17日・18日、リヤドで開催されたOPECサミットで提示された環境保護の目的と合致する」旨述べた。

(2) チリボガ大臣とカリオン大使は、エクアドルの提案として、「国際社会から、350百万ドルの補償を得られる場合には、推定埋蔵量920万バレル (重質油) を地下に止める。開発を行わないことにより、UNESCOにより、世界で最も生物多様性に富み、エコシステム上脆弱な地域であると認定されているヤスニ国立公園 (Parque Nacional de Yasuni) を保護することが可能となる。ヤスニ公園内の ITT 鉱区を保護することは、森林破壊を避ける為のカーボンクレジットを発行することも可能である。右が、アマゾン地域全体の持続的利用に貢献し、ひいては、全人類のための環境保護に直接裨益する。更に、エクアドルの提案は、ヤスニ国立公園内に居住し、現代社会との接触を自発的に避けているタガエリ族及びタロメナエ族の権利を保護することにも繋がる」旨主張した。

(3) カリオン大使は、エクアドルの提案につき、特に、クウェート、サウジアラビア及びアラブ首長国連邦から強い関心が寄せられ、クウェート代表団の Nawal Al-Fuzaia 氏より、「ITT 鉱区保護のための可能性な財政支援として、ITT 鉱区保護プロジェクトをクウェートのエネルギー基金 (Fondo de Energia) に申請してみはどうか」とのコメントがあった旨報告した。

3. 鉱山部門の可能性

15日、コリア大統領は、毎週土曜日に行っているラジオ放送において、当国における銅鉱山の高いポテンシャルにつき、以下のとおり述べた。

「エクアドルには、当国が、銅生産世界の国になりうる十分な銅埋蔵量があり、銅及びその他の鉱物（主に金及び銀）埋蔵量は、総額約200,000百万ドルに上ると見られる。エクアドル政府は、理に適った鉱山開発を行う。そのために、鉱山公社（Corporacion Estatal Minera）を創設する。何故なら、エクアドルの天然資源はエクアドル国民のものであるため、天然資源の扱いは、国営公社によって行われるべきであるからである。社会及び環境へのインパクトについては、鉱山周辺住民の健康に配慮し、また、環境へのインパクトを最小限に止める方法を模索する。エクアドルは、これら天然資源を（採掘せずに）地下に止めておくことは出来ない。」

4. マージナル油田開発

13日、約10年ぶりに、エクアドルはマージナル油田（生産量が当国原油日量生産量（約52万B/D）の1%を下回る油田（重質油））開発契約に署名した。2003年、グティエレス政権の崩壊により、予定されていた11油田の入札が消滅、次のパラシオ政権において8油田の入札に対し9社が参加したが、入札は中止（sususpendido）となった。2007年9月、コリア現政権は、8油田のうち5油田に対する入札を実施、13日、そのうち3油田の開発契約（20年有効）に署名した。残りの2油田（Armadillo油田、Frontera Tetepi Tapi油田）については協議中の由。

（1）Singue 油田（スクンビオス県）、Pucuna 油田（オレジャアナ県）

落札者：エクアドルの Dygoil 社とベネズエラの Proinci 社、NCT Energy 社、NCT Estudios y Proyectos 社及び Suelopetrol 社によるコンソーシアム（Consortio Petroleo Amazonico）
投資予定額：シング油田に17百万ドル、プクナ油田に38百万ドル

（2）Puma 油田（オレジャアナ県）

落札者：コロンビアの Ismocol 社と米国の Upland 社及び Pecs Iecontsa 社によるコンソーシアム（Consortio Petroleo Pegaso）
投資予定額：53百万ドル